

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 函館緑花会	代表者	伊藤 巧	法人・ 事業所 の特徴	美ヶ丘敬楽荘せせらぎの家「きずな」は、住み慣れた地域での生活を出来るだけ継続出来るよう、地域住民との交流や社会参加を図りつつ、「通い」「訪問」「泊り」サービスを柔軟に組み合わせながら支援いたします。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 美ヶ丘敬楽荘せせらぎの家 きずな	管理者	坂井 敦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	2人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所としての業務担当者の業務評価と自己評価の比較評価が必要なのではないか。 それをもとに事業所としての改善を考えた方がよいのではないか。 ・サービス担当者会議など外部との会議には、現場の介護職員はなかなか関われないのではないか。 ・事業所の評価というよりも個人の評価になっているが、それでいいのか ・成年後見制度ではなく、日常生活自立支援制度など、きずなに合わせて項目を変更してもよいのではないか。 	初めての取り組みだったため、十分に皆さんに説明できないまま進行してしまっていた。頂いたご意見を参考に、委員の方々に説明をしっかりと行い、評価をしっかりと行う。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型特養の「ゆとり」と小規模多機能の「きずな」、地域の人にはわかりづらい 	「きずな」として地域の方に認識していただけるように、また、家族や地域の方が事業所に入りやすい雰囲気をつくるためのアイデアを出していく。具体的には大野の桜回廊の時期に、休憩所を設け、地域の方にお茶を出すなどしていく。

C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・もっと地域に浸透させても良いのではないか ・町内会の集まりに出て説明してはどうか。 ・利用者の家族の口コミを利用していても良いのではないか ・民生委員等と連携をとってみてはどうか。 ・施設の事を知りたいと思っている人が少ない。 	<p>町内会を中心として、地域に対してアピールを行う。民生委員との連携、老人クラブ等での宣伝を行う。また、施設周辺にチラシを配布し事業所を知って頂く。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・中身は正直わかりづらい。 	<p>利用者以外の近所の方に対しても相談していただけるような開かれた事業所を目指す。そのためにも、地域の方にボランティア等で事業所に足を運んで頂けるようにする。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・官庁のような説明で、わかりづらかった。 ・外から一部分しかみれていないが外部評価としてどうか 	<p>事業所の運営について、分かりやすく説明し、ご理解を頂けるように努める。頂いたご意見をもとに開かれた運営を行う。</p>
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・初期の頃の運営推進会議では、防災訓練をみている。 	<p>避難訓練等を運営推進委員の方々に見学していただけるように計画する。</p>